

わたしのうみ ART/LIFE

PROLOGUE:

FROM THE INSIDE OUT: THE NATIONAL PARK IN PAINTINGS

CHAPTER 1: VIEWPOINTS OF PAINTERS TRAVELING THE SETO INLAND SEA

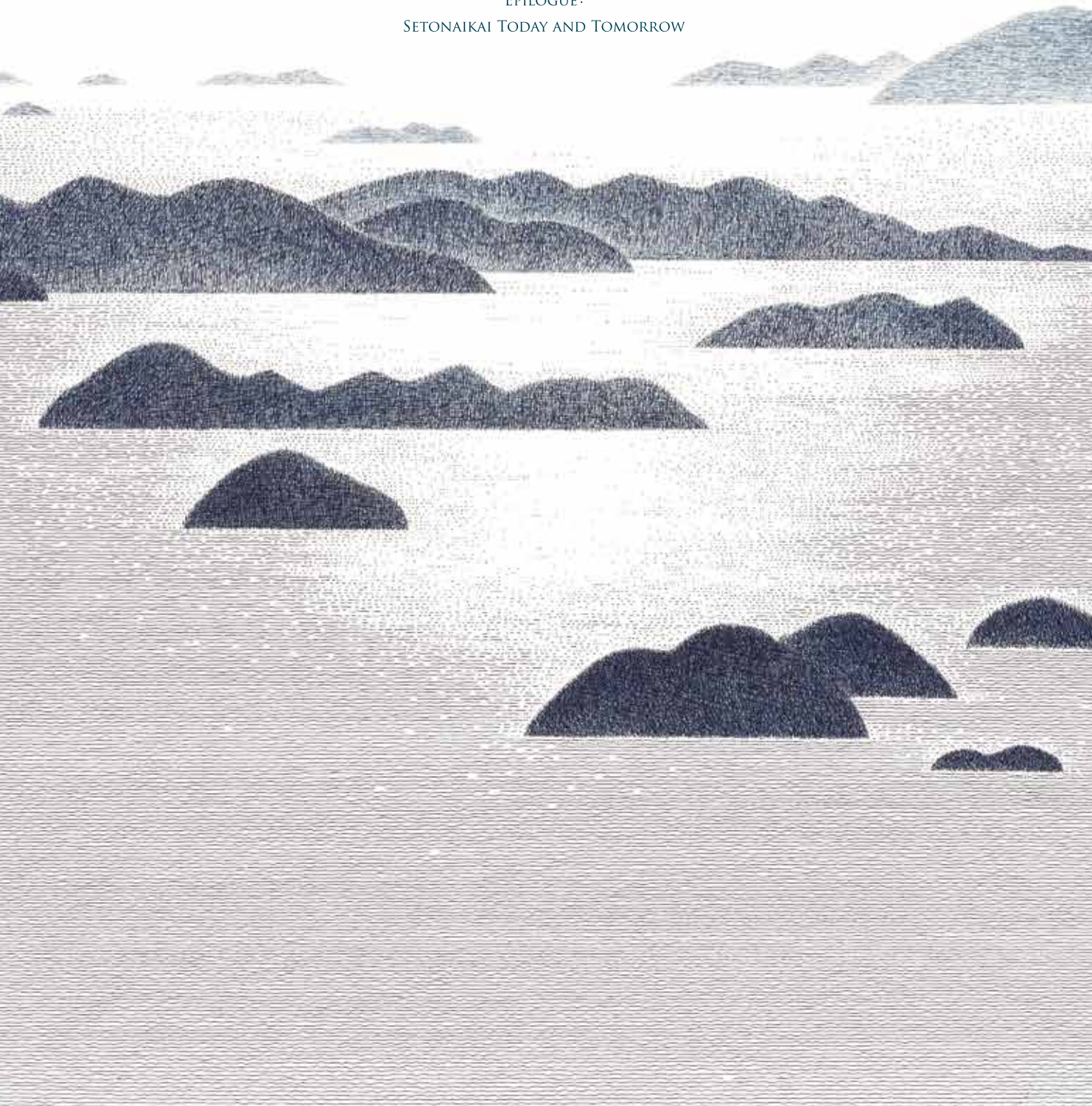
CHAPTER 2: SUNOUCHI TORU AND THE ARTISTS OF SETONAIKAI

CHAPTER 3: BLUE FOLK CRAFTS

CHAPTER 4: SETONAIKAI ARCHITECTURAL CHARTER 1979

EPILOGUE:

SETONAIKAI TODAY AND TOMORROW



愛媛県松山市堀之内

TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511

<https://www.chime-art.jp/>

開館時間 | 9:40~18:00[入場は17:30まで]

会場 | 本館1階 企画展示室1・2

休館日 | 2月13日(火)、19日(月)、26日(月)、3月5日(火)、11日(月)、18日(月)

観覧料 | 一般:900円 65歳以上:800円 高大生:500円 小中生:300円

※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料。 ※団体(20人以上)の方は、各料金から100円引き。

※当日に限り、本展観覧券の提示で「コンドウアキのおしごと展」100円引き。

主催:愛媛県美術館 共催:愛媛新聞社 助成:令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

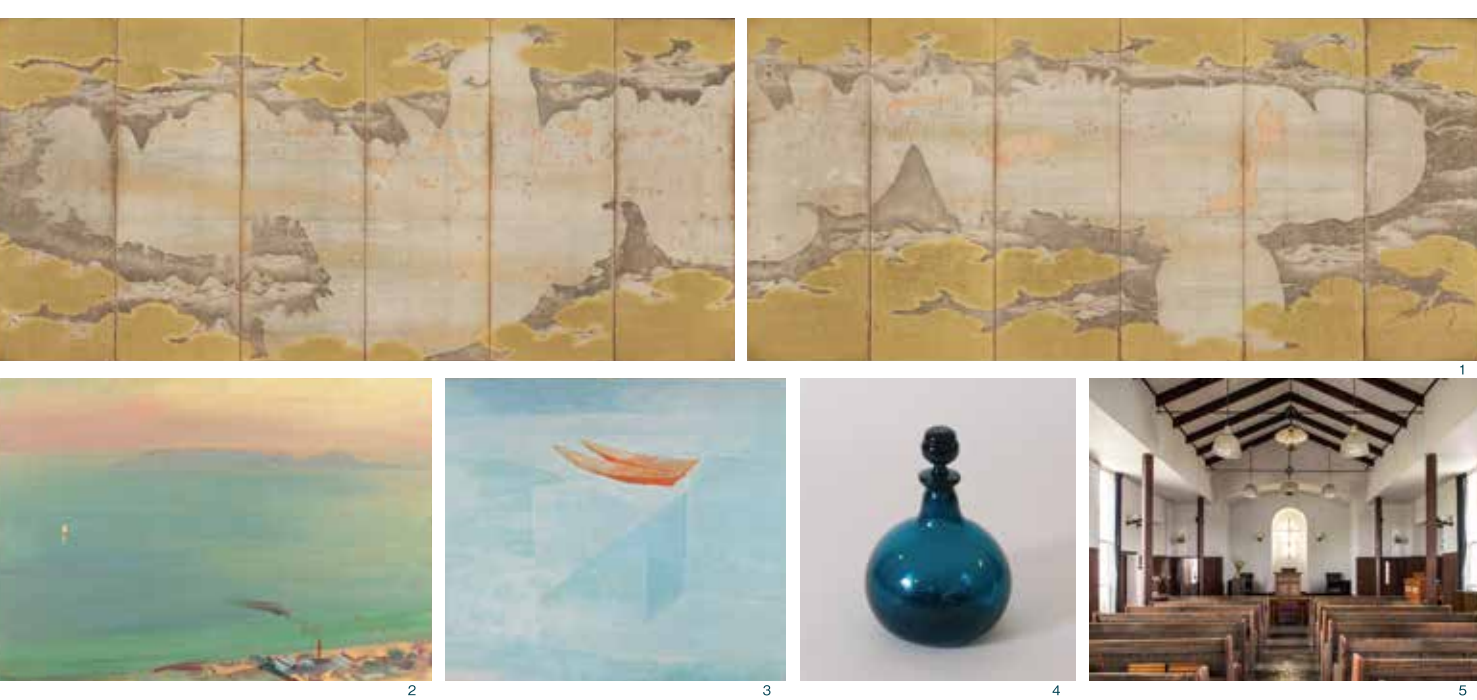
協力:愛媛大学国際連携推進機構、愛媛県総合科学博物館、愛媛県歴史文化博物館 後援:中国四国地方環境事務所四国事務所、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、えみりびんぐ新聞社

shunshun《亀老山》(部分)2023年 作家蔵

JAPAN
CULTURAL
EXPO 2.0



文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



90th Anniversary Setonaikai National Park

The Sea and I ART / LIFE

瀬戸内海は、「我が国の風景を代表するに足りる傑出した自然の風景地」として1934年に日本初の国立公園のひとつとして指定され、2024年3月16日に指定から90周年の節目を迎えます。本州、四国および九州により囲まれた日本最大の内海である瀬戸内海には、700を超える大小さまざまな島々が点在しており、この多島美からなる風景や、そこから生まれた豊かな資源は、美術に限らず、私たちの暮らしにも大きな影響を与えてきました。本展では、その歴史を語る絵画作品をはじめ、身近な民藝や建築の仕事についても紹介します。時代や分野を越えてつながる瀬戸内海の魅力について、ひとりひとりが「わたしのうみ」として思い見る機会となれば幸いです。

また、多角的な理解を深めるために、資料や研究調査成果を共有しながら、県の歴史文化博物館および総合科学博物館においても同時期に瀬戸内海に関する展示を開催いたします。

トーク、レクチャー

1) 県立3ミュージアム連続講座 (当日:先着60名)

時間 | 13:30-15:00 場所 | 研修室

「地質学からみる白砂青松の風景」2月25日(日)

講師 | 山根勝枝専門学芸員(県総合科学博物館)

「瀬戸内海をとらえた作家たち」3月2日(土)

講師 | 喜安嶺主任学芸員(県美術館)

「歴史からみる瀬戸内海トトラベル」3月9日(土)

講師 | 甲斐末希子主任学芸員(県歴史文化博物館)

2) 民藝トーク (要観覧券)

日時 | 3月20日(水・祝)14:00-15:00 場所 | 企画展示室

講師 | 小谷栄次(倉敷ガラス)、瀧山雄一(倉敷緞通)

3) せとうち夜話 (1ドリンク制:先着20名)

様々な視点から瀬戸内海をゆりりと楽しむ金曜の夜。

時間 | 18:00-19:00 場所 | ミュージアムカフェ

◎ブック・写真編 3月1日(金)

越智政尚(本の職主宰)×宮畑周平(瀬戸内編集デザイン研究所代表)

◎デザイン・クラフト編 3月22日(金)

井上真季(本展デザイナー)×門田真記子(工芸ロサ店主)

ワークショップ

1) 線で描く海[公開制作+WS] (ワークショップのみ要予約)

本展出品作家shunshunが1本の線から海を描く様子を公開、線のワークショップも実施します。

日時 | 2月11日(日) ①11:00-12:00(公開制作)

②13:30-16:00(ワークショップ)

場所 | ①エントランスホール ②展望ロビー

講師 | shunshun(素画家)

材料費 | 2,500円程度[WS参加者のみ、先着12名(15歳以上)]

2) ちりめんモンスター inケンビ (随時受付)

日時 | 2月17日(土) 13:30-15:00

場所 | エントランスホール

講師 | 小林真吾専門学芸員(県総合科学博物館)

材料費 | 300円程度

3) 「藍染」ワークショップ (要予約:先着各約10名)

日時 | 2月23日(金・祝) ①10:30-11:30 ②14:00-15:00

場所 | 南館 アトリエ2

講師 | 田代亜矢子専門学芸員(県美術館)

材料費 | 400円

4) 県立3ミュージアムコラボ (要予約:先着10名)

ビーチコーミング観察会+ワークショップ

日時 | 2月24日(土) 10:00-15:00

場所 | 扶桑会館(伊予市) ほかく現地集合・解散

講師 | 3館学芸員

材料費 | 300円程度

体験

1) 民藝と建築ツアー (要予約:先着20名)

浦辺鎮太郎設計の「愛媛民藝館」と「西条栄光教会」を

よくみて・楽しむツアー

日時 | 3月23日(土) 13:00-15:00

場所 | 愛媛民藝館(西条市) ほかく現地集合・解散

講師 | 曲田清維(愛媛大学名誉教授)、和田耕一(設計士)

参加料 | 500円程度(入館料込)

2) たんけん?はっけん!瀬戸内海 (要観覧券・随時受付)

日時 | 3月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)

各日10:30-14:30

場所 | 企画展示室

ナビゲーター | 作品ガイドボランティアほか

関連イベントの詳細とお申込みはこちらから



1.《瀬戸内海航路図屏風》江戸時代、国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)※前期(2/7~3/4)のみ展示 2.藤島武二《屋島よりの遠望》1932年、アーティゾン美術館蔵 3.田中孝《エレジー》1984年、川崎市市民ミュージアム蔵 4.小谷真三《倉敷ガラス 大丸瓶》1980年代、愛媛民藝館蔵 5.浦辺鎮太郎設計 西条栄光教会(礼拝堂)1951年 ©宮畑周平
会期中、一部展示替があります。詳細はHPをご確認ください。

わたしのうみ ART / LIFE 2024.2.7wed — 2024.3.24sun

プロローグ 内から外へー国立公園を描く

第1章 瀬戸内海を放した画家のまなざし

第2章 洲之内徹と瀬戸内の作家たち

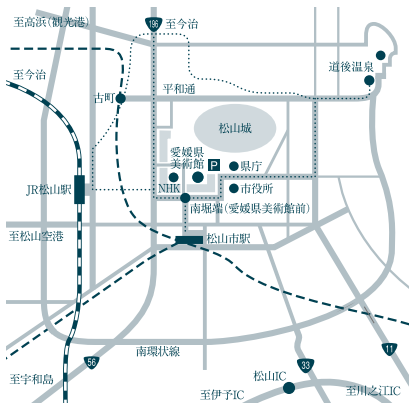
第3章 あおの民芸

第4章 瀬戸内海建築意匠1979

エピローグ いま/これからの瀬戸内海

Information (HP) (English)

展覧会情報



[交通案内] ◎伊予鉄道「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。「松山市駅」徒歩5分。※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用できますが、駐車台数に限りがあり、混雑が予想されるため、公共交通機関等のご利用をお願いします。

[会期中の催し]

◎ ポップアップストア

美しい手仕事の品々を取り扱う「工芸ロサ」のサテライト店が、エントランスホールにオープン! 砥部焼や倉敷ガラスなどをお手にとってゆっくりご覧ください。

◎ コラボメニューの提供

当館カフェにて、本展コラボメニューを砥部焼の器で提供いたします。ぜひご賞味ください。

THE MUSEUM OF ART EHIME 愛媛県美術館

愛媛県松山市堀之内 TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
https://www.ehime-art.jp/

【同時開催】瀬戸内海国立公園指定90周年 展覧会
2024年2月17日(土)~2024年4月7日(日)

愛媛県総合科学博物館「来島海峡と潮流信号所」
愛媛県歴史文化博物館「瀬戸内海ツーリズム」